

# 事業仕分け評価シート集計結果

11月10日(土) 市民評価委員: 25名

仕分け人: 6名(仕分け人の判定はあくまで参考)

事業番号	1	事業名	津山市連合町内会補助金
------	---	-----	-------------

結果	市が実施(要改善)
----	-----------

## 1. 判定項目

判定項目	廃止	民間等 で実施	市が実施 (現行どおり)	市が実施 (要改善)	市が実施 (拡大・充実)
	2	0	3	18	2
参考(仕分け人)	0	0	1	5	0

## 2. 評価チェック項目

評価チェック項目	市民評価委員	比率	参考(仕分け人)
1 16. 実施方法を見直すべきである	12	48.0%	2
2 26. 市民が必要としている事業である	12	48.0%	
3 17. 事業の検証、効果の測定をもっとするべき	11	44.0%	2
4 18. 将来ビジョンを明確にするべき	10	40.0%	
5 23. 事業内容を見直すべき	9	36.0%	2
6 6. 事業の整理統合が必要である	9	36.0%	1
7 11. ボランティア協力による実施を推進するべき	9	36.0%	1
8 13. 情報発信(PR)を強化するべき	6	24.0%	
9 28. 事業内容をさらに充実するべき	6	24.0%	
10 7. 受益者(利用者)が限定されている	5	20.0%	2
11 14. 収入を増加させる取り組みが必要である	4	16.0%	2
12 12. 地域との協働化を推進するべき	4	16.0%	
13 10. 受益者(利用者)負担を見直すべき	3	12.0%	2
14 24. 現行どおり継続していくべき	3	12.0%	1
15 5. 時代に適合していない	2	8.0%	1
16 15. コスト(経費)がかかりすぎている	2	8.0%	1
17 4. 事業実施の効果が期待できない(効果が薄い)	2	8.0%	
18 27. 事業の規模を拡大するべき	2	8.0%	
19 2. 市が実施(関与)する必要はない	1	4.0%	
20 3. 市民が必要としている内容ではない	1	4.0%	
21 9. 民間等でやった方が効果的・効率的である	1	4.0%	
22 21. 民間等への委託を検討するべき	1	4.0%	
23 22. 事業規模を縮小するべき	1	4.0%	
24 25. 事業実施は適正に行われている		0.0%	1
25 1. 事業の役割は終了している		0.0%	
26 8. 民間と競合している		0.0%	
27 19. 事業の終期を設定するべき		0.0%	
28 20. 民間等への譲渡を検討するべき		0.0%	

## 市民評価委員のコメント

- ・祝賀会、互礼会、支部長研修、町内会長研修の費用にこれだけの金額がなぜ必要か
- ・町内会の必要性は認識しているが、事業の根拠が説明できないなら、別事業で実施すべき根拠を明確にして実施すべき。予算の妥当性が全くわからない。内容によっては拡大も
- ・使途が見えにくい補助なので、将来的には減額していく努力が必要では
- ・研修費等を充実させ、支部の雑費となるとわかりきっている支部助成を減額しては
- ・町内会費については各々違うと思う。町内会には、子供会、青年団等含まれているので予算減額は困る。町内会費がこれ以上値上がりするのも困る
- ・細かい数字が見えない
- ・事業費のうち研修費に取られているが、研修を行った後の改善や方向性など実施していく必要があり、内容を明確にして次につなげるべき
- ・自分が町内会に所属していながら、何にお金が使われているかわからない税金が何に使われているかわからないと、市への不信感につながる
- ・事業費の中の年賀広告等、習慣的になっている細かい支出も見直すべきもう少し税金を使っているという意識と責任をもっていただきたい
- ・決算の中で総務費が結構大きな割合を占めている。不要なものもあり指摘すべき
- ・補助金がどのように使われているか市でしっかり把握する必要があるのでは
- ・お金のことは少しわかりにくかったが、金額は決して多くはないと思う。補助金ありきで何かせよということになれば、役員や参加者の負担が重くなるこれまでも町内でしてきた行事を自治的に充実していくよう努力していきたい
- ・事業の運営体制に問題があるのでは。PDCAがきちんと行われているか不明であり、費用対効果に疑問がある。バランスシートを活用する等して事業実態を明確にすべき
- ・費用対効果の確認をしっかりと改善見直しをするべき
- ・市町村合併で加わったところは、連合町内会があること自体知らないのでは税金で活動している以上、市民にもっと活動を広報するべき
- ・会費3,000円など知らない。研修費や事業部会費など多すぎる。会議費、保険料は役員についてのものか。どこまでが町内会の仕事かわからないが、町内会の仕事は多すぎる
- ・連合町内会も意識改革が必要では
- ・補助の基準を明確に
- ・明るく住みよい活力あるまちづくり、これが一番。そのためには市と町内会が一体となって強く推進していただきたい。職員の強い指導を希望する。お金ではない
- ・運営目的が具体的になく本質的な成果が理解しにくい
- ・優先順位を明確にして実施すべき事項を整理すること。(いつまでにどうするかを明確に)
- ・今の時代に適していない。今後は、各家庭1台パソコンを用意して連絡をはかる。
- ・町内会の役割は大きい。コミュニケーションを図る場として各町内で計画してほしい
- ・各町内会で費用は捻出を
- ・一番身近な町内会として拡大を
- ・少子高齢化が急速に進んでおり、町内会は自治組織とはいえ、会費の負担も重荷に感じる人が少なくない。行政の支援はますます強化されるべき